

和文英訳にトライ！その2
～機械翻訳と勝負してみよう！～

前回は日本の文学作品を英訳しました。シリーズ2回目の今日もすでに著作権が切れた日本の名文学から抜粋で5問作りしました。ただし今日は、皆さんが今までにやったことがない形式で出題します。それでは、Let's Try!

問. 次の日本の名文学作品に含まれる下線部をそれぞれ英語に訳してください。ただし[機械翻訳]の欄には、皆さんがよく知っている「google 翻訳」と2017年に完成して、今web上でフリーに使える機械翻訳機「DeepL 翻訳」が行った翻訳をそれぞれ載せているので、英訳する際に、辞書の他、それらを参考にしてもよい。

1. 谷崎潤一郎「細雪」

「こいさん、頼むわ。——」

鏡の中で、廊下からうしろへ這入（はい）って来た妙子（たえこ）を見ると、自分で襟を塗りかけていた刷毛（はけ）を渡して、其方は見ずに、眼の前に映っている長襦袢（ながじゅばん）姿の、抜き衣紋の顔を他人の顔のように見据えながら、

「雪子ちゃん下で何してる」

と、幸子はきいた。

「悦ちゃんのピアノ見たげてるらしい」

——なるほど、階下で練習曲の音がしているのは、雪子が先に身支度をしてしまったところで悦子に掴まって、稽古を見てやっているのであろう。悦子は母が外出する時でも雪子さえ家にいてくれれば大人しく留守番をする児であるのに、今日は母と雪子と妙子と、三人が揃って出かけると云うので少し機嫌が悪いのであるが、二時に始まる演奏会が済みさえしたら雪子だけ一と足先に、夕飯までには帰って来て上げると云うことでどうやら納得はしているのであった。

[Google 翻訳]

What the practicing music sounds downstairs may be that Yukiko catches Etsuko when she is getting ready for it and watching the lessons.

[DeepL 翻訳]

The sound of a rehearsal piece downstairs is probably due to Etsuko holding on to her as she prepares to go downstairs to watch the rehearsal.

2. 梶井基次郎「檸檬」

えたいの知れない不吉な塊が私の心を始終おさえつけていた。焦燥と言おうか、嫌悪と言おうか——酒を飲んだあとに二日酔いがあるように、酒を毎日飲んでいると宿酔に相当した時期がやって来る。それが来たのだ。これはちょっといけなかった。結果した肺尖カタルや神経衰弱がいけないのではない。また背を焼くような借金などがいけないのではない。いけないのはその不吉な塊だ。以前私を喜ばせたどんな美しい音楽も、どんな美しい詩の一節も辛抱がなくなかった。蓄音器を聴かせてもらいにわざわざ出かけて行っても、最初の二三小節で不意に立ち上がってしまいたくなる。何かが私をいたたまらずさせるのだ。それで始終私は街から街を浮浪し続けていた。

[Google 翻訳]

An unknown sinister mass kept my heart down.

[DeepL 翻訳]

A sinister mass of unknowable evil has been holding back my mind throughout.

3. 夏目漱石「三四郎」

うとうととして目がさめると女はいつのまにか、隣のじいさんと話を始めている。このじいさんはたしかに前の前の駅から乗ったいなか者である。発車まぎわに頓狂な声を出して駆け込んで来て、いきなり肌をぬいだと思ったら背中にお灸のあとがいっぱいあったので、三四郎の記憶に残っている。じいさんが汗をふいて、肌を入れて、女の隣に腰をかけたまでよく注意して見ていたくらいである。

[Google 翻訳]

When I started running, I rushed out loud, and suddenly I thought I had wiped my skin, but there was a lot of moxibustion on my back, so I remembered Sanshiro. I used to look carefully until my grandfather sweated, put on my skin, and sat down next to the woman.

[DeepL 翻訳]

He rushed in with a crazed voice just before the train departed, and when he thought he had wiped his skin, he had a lot of moxibustion marks on his back, which remains in Sanshiro's memory. I even watched closely until the old man wiped off his sweat, got his skin in, and sat down next to the woman.

以上3つです。機械翻訳例はあくまで参考として自分で訳を考えてみてください。機械に負けずにがんばろう！